

令和6年度（2024）保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和7年3月

事業所名：仙台市サンホーム

在籍保護者数 37名 回収数37枚 回収率 100%

| 必修項目 | ○ | チェック項目 | はい (%) | どちらともいえない (%) | いいえ (%) | わからない (%) | 未記入 | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|---|-----------|---------------|---------|-----------|------|---|---|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 27 (73%) | 9 (24%) | (%) | 1 (3%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・視覚優位の子どものためにたくさん写真を使って一つ一つのステップを可視化する工夫をしてくれた。家庭でも真似したい。 ・人数が増えるに伴い、やや狭いと感じる。 ・人数が増えると危ないと感じることもある。 ・5人以上になると少し狭く感じる。 ・もう少し広いと良いかも。 ・人数が多い日は狭く感じる時がある。 ・マックス10家族まで受け入れ可能だとしたら若干狭いと思う。 ・走り回る子にとっては少し狭い。 ・工作などは良いが身体を使う遊びはより広い場があるとありがたい。 ・人が多くなっていると少し狭いとは感じる。 ・適切だと思う。 ・滑り台など設置しても十分なスペースが確保されている。 ・広すぎず、狭すぎず見守るにもちょうど良い広さの部屋だと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定員1日30名のため1クラス10名Maxで3クラス編成である。親子のほか預け先のないきょうだい児も含めると保育室内の人口密度が高くなる。動きの大きな子どもたちが多くなると転倒などのリスクも高まるため、スタッフが細心の注意を払っている。より安全な療育活動のためには、園庭の活用頻度や散歩回数の増加など活動プログラムの工夫を実施していく。 |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 30 (81%) | 3 (8%) | 1 (3%) | 3 (8%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・今日、ちょっと足りてないかもと思う日もあった。 ・足りないかな？という時もある。 ・適切だと思うが親子だけでいる時間もおり家の環境と変わらないのではと思うこともある。 ・まだ入園したばかりなので分かりません。 ・まだどの方どのどのような伝え方をすればよいか分からない。ネームに職種を書いてほしい。 ・先生の人数が多く相談もしやすいので助かっている。 ・適切だと思う。 ・保育士3名のほかに作業療法士、心理士、進路指導の先生など人数も専門性も兼ね備えている。 ・自分のクラスの先生の人数は適切だと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状態像や人数、活動内容などから必要に応じて担任3名＋フルスタッフや作業療法士、公認心理師などが療育に入っており、限られた人員体制の中で、療育・支援スキルの上とチームアプローチに努め安全性を確保している。 ・スタッフの人材教育については、年間を通しての研修やチームアプローチにより専門性の向上と療育の質の担保に努めている。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 33 (89%) | 2 (5%) | (%) | 2 (5%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・床が滑りやすい。出入口が狭い。 ・子ども本人が入室してから手洗いなどしなければならぬことを覚えてきたので良いのだと思う。 ・仕切りなど使ったりマークを作ってもらって、子どもも「ここは自分の場所だ」と認識できている。 ・室内はとてもきれいに整理整頓され、より子どもたちが過ごしやすいように工夫されてとても良い。 ・エレベーターやスロープ、車椅子なども配慮された設備がある。 ・余計なものがなく、水道やトイ、上着掛け、靴下入れ、靴をはく椅子などがある。自分のマークがついているので分かりやすく覚えやすい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日行う朝の身支度の流れを視覚的な教材（写真や絵カードを使用したスケジュール）で示したり、パーテーションで動線を作る等、空間や時間の流れを構造化し、わかりやすく過ごしやすい環境の工夫に努めている。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 37 (100%) | (%) | (%) | (%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・清潔だと思う。 ・清掃もしっかりされていていつも気持ちよく利用できる状態。 ・トイレの便座なども暖房機能があるため、子どもがよりトイレに行きやすい環境になっているのでとてもありがたい。 ・保護者用ロッカーの下段を開ける時に扉が子どもの頭にあたってしまったことがあるので気をつけなければと思った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日療育後に清掃を行い、保育室内の整理整頓を心掛けています。また、新型コロナウイルス発生時期から引き続き、子どもが口に入れた玩具の消毒を徹底し、衛生的な環境を保つよう努めています。 ・保護者用のロッカーが子どもの手の届く高さにあるため、保護者の開閉時だけでなく、子どもが開閉した際にも怪我や事故のないよう職員も気を付けていきたい。 |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画 ¹ が作成されているか | 32 (86%) | 1 (3%) | (%) | 3 (8%) | (3%) | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもをよく観察して支援計画を立てて下さり嬉しく思う。 ・先生は話をよく聞いてくれるし、分析してくれるので適切だと思う。 ・親が不安に思うことを先生方が的確に伝えてくれることで問題や課題を共有でき、目標が明確に理解できる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の療育中のアセスメントや保護者とのやりとりだけでなく、保護者に『家庭から見た子どもの様子』として書類を書いてもらうことにより、ニーズや課題の把握に繋がっている。今後も適切なニーズや課題の把握とアセスメントのために、職員間で情報の共有を図り、的確な分析のもと支援計画に取り入れていきたい。 |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援が「トレーニング」「発達支援の提供」「生活訓練」「社会生活（年中支援）」「個別支援」「アセスメント」からなる構成要素として、具体的な支援内容が設定されているか。 | 32 (86%) | 1 (3%) | (%) | 2 (5%) | (5%) | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しめている。 ・「〇〇君はこのような行動をとっていますが～をしてみてください」という「〇〇君はこのようなくらい必要かも」（褒め方や伝え方）等書面だけでなく、活動中に実践し教示してほしい。 ・細かく子どものことをみて、どこが課題かを考えてくれている。 ・課題に対しての活動や促しについて理由、エビデンスを教えてもらえる。 ・先生方が細かい部分までみてくださり、あまり気にしていないこともきちんと記載されていた。具体的にどうすればいいということも書かれてあったが、わかりやすい口頭での説明もあった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの特性に応じた支援の視点や項目を明記し、その支援内容を具体的に記載している。支援計画のフォーマットに関しては、今後も児童発達支援ガイドラインに沿って改良し、より分かりやすい形に整備していきたい。 ・療育中の保護者との共有についても、保護者一人ひとりのニーズや思いを見極めながら、引き続き積極的にしていきたい。 |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。 | 32 (86%) | 2 (5%) | (%) | 2 (5%) | (3%) | <ul style="list-style-type: none"> ・親が感じている困り感に対し支援計画に沿った声かけや支援がある。 ・これからは支援を楽しみにしている。 ・先生によって対応が違うことがある。 ・支援が行われている。 ・不安にならないように先に写真で教えてもらうなどスムーズな配慮・支援がある。 ・椅子の調整、一口大の大きさなどすぐに支援が始まった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・クラス会議などの中で定期的に支援計画を確認する機会を設け、支援計画に沿った支援を意識づけられている。また、子どもの成長や変化に応じてその都度支援を見直し、次の支援計画に繋げている。 ・職員内での経験や保育観の違いにより保護者を混乱させることのないよう、今後も子どもの状態像や支援方法の共有を図っていきたい。 |

| | | | | | | | | | |
|----------|----|---|-------------|------------|-----------|------------|-------------|--|---|
| | 8 | 活動プログラム ³ が固定化しないよう工夫されているか。 | 31 (84%) | 4 (11%) | 1 (3%) | 1 (3%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日登園などで活動内容が重複しやすいが、子どもにとってはじっくり経験を積む良い会になっている。 ・発達目的に合わせて色々な活動が用意されている。 ・1ヶ月を通して様々なあそびがあって子どももいつも飽きずに楽しんでいる。 ・季節のイベントや屋内外での活動、他の保育室での活動など飽きない工夫がある。 ・毎回違った様々な活動をしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムは、子どもの発達段階や特性を重視し、個々のねらいも考慮しながら組み立てている。保護者勉強会では、発達とあそびの関連性、感覚統合の大切さ、あそびの種類と意義、自己肯定感を育む声掛けの重要性などを伝えている。同じあそびをくり返し実施し、成功体験や達成感を育む、ステップアップした内容でさらなる成長を引き出すなど成長過程に応じた活動内容を工夫している。保護者にもそのねらいが十分伝わるように努力していきたい。 |
| | 9 | 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか。 | 21 (57%) | (%) | 1 (3%) | 2 (5%) | 13 (35%) | <ul style="list-style-type: none"> ・保育園のお子さん方はサンホームについてどのような説明を受けているのか少し気になる。 ・保育園に行くことはあったがそこに通う子どもとの活動はなかったと思う。 ・まだ参加したことがなくわからない。 ・隣の保育園との関係がとても良い。 ・交流保育でクラスにお邪魔したりもできた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の保育園と連携を図り、交流保育として年に数回訪問した。クラスの子どもの状態像などに合わせて、園庭やホールをお借りしてあそんだり、保育園の園児と一緒に活動に参加させて頂いた。今後も交流を図る中で、サンホームについての理解や正しい認識を地域に広めていきたい。 |
| | 10 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。 | 35 (95%) | 2 (5%) | (%) | (%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・サンホームのしおりや園長先生のお話して説明された。 ・バス・公用車の利用規則に分かりやすく距離等示した方がよい。利用条件などを知り保護者自身が利用の可否を判断できるようなもの。公用車の送迎利用が2,3回目まで中止になったことがある。送迎が困難になりそうな場合は利用開始前に実際にかかる時間を調べて利用者に説明したほうがよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション当日の丁寧な説明を基本としているが、情報量が多いと混乱しやすいので内容の受け止め方を確認しつつ、後日の補足説明も実施している。 ・送迎利用に関しては、これまで距離や制限や利用条件等を細かく設けておらず、子どもの状態像や家庭環境、他の送迎利用希望者の兼ね合いを考慮してケースバイケースで判断していた。今後は利用条件などをより具体的に設けたり、保護者への説明の仕方等、検討していく必要がある。 |
| | 11 | 所定の連携支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と同一内容に基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。 | 32 (86%) | 1 (3%) | (%) | 2 (5%) | 2 (5%) | <ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な説明があった。 ・説明されたとと思うがあいだがあいてしまい・・・(薄れている?) ・面談の際にしっかりと説明されている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・支援内容については、子どもの特性や保護者の受け止め方に配慮しながら、具体的なかつ分かりやすい説明を心がけている。 |
| | 12 | 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか。 | 15 (41%) | 2 (5%) | (%) | 1 (3%) | 19 (51%) | <ul style="list-style-type: none"> ・初めて聞きました。 ・勉強会を通して毎回新たな学びがあり参加して良かったと毎回思う。 ・勉強会などでも学び機会がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・仙台市主催のペアレントプログラム研修受講後の職員が「自己肯定感を育むこと」と題して保護者勉強会を実施している。 |
| | 13 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通の理解ができているか。 | 33 (89%) | 4 (11%) | (%) | (%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・毎日ヒアリングがあり、たくさんのアドバイスもある。ありがたい。 ・子どもの課題や良かった点をいつも伝えてくれる。相談しやすい状況を作ってくれた。 ・先生方がとても話しやすいのでいつも子どもの変化をお話してきている。 ・伝え合う時間が確保できないことが多い。(児の対応で忙しい) ・担任の先生たちも情報共有されており、どの先生に伝えても安心できる。 ・よく話を聞いてもらえたり最近〇〇ですと成長や課題を教えてください。 ・子どもの様子について丁寧なみてくださり、ちょっとした変化にもすぐ気づいてもらえて信頼できる。 ・子どもの成長した点やエピソードの共有ができる。 ・子どもの対応で困っているときは先生と一緒に考えてくれた。看護師さんもよく健康観察してくれた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・課題の共通理解については、通常療育や面談時に丁寧なコミュニケーションを心がけている。おおむね保護者との関係性は良好と思われているが、業務の忙しさから保護者が声掛けしにくい状況を招いていた場面も見受けられることから、フルー職員との連携などにより話しやすい雰囲気配慮していきたい。 |
| | 14 | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。 | 32 (86%) | 3 (8%) | (%) | 2 (5%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・相談や助言の時間ももっとあってほしい。専門的な意見をもっと聞きたい。 ・出席日数が少ないのでいまままで面談は1回だけ、よくわからない。 ・どう対応したらよいかなどの確にアドバイスをくれる。 ・ちょっとした会話の中でアドバイスしてくれるのでありがたい。 ・定期的な面談や相談することもでき丁寧な対応がある。 ・個別面談が定期的であり、アドバイスなどはいつでも受けられる環境だと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日々の療育の振り返りや随時の面談などを通して前向きな子育てへの支援を実践している。上記同様、業務の忙しさから保護者が声を掛けにくい状況もあるため、保護者のニーズに応じた相談の時間の確保に努めていきたい。 ・公認心理師による専門的な相談も開始し、子育て環境にも踏み込んだ包括的なサポートを心がけている。 |
| | 15 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。 | 12 (32%) | 1 (3%) | 1 (3%) | 3 (8%) | 20 (54%) | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携が具体的に何をさしているのかよくわからない。同じクラスの保護者同士は少しは交流時間がある。 ・父母で参加しているのでもより子どもの状況把握できていると思う。 ・ブレイクタイム(保護者交流)などもあり、楽しく会話したり育児の大変さを分かち合える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・療育中にブレイクタイムとして保護者だけで過ごす時間を設けたり、クラス懇談会や家族参観での父親向けの懇談会を通して、保護者間交流をサポートしている。 |
| | 16 | 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか。 | 29 (78%) | (%) | (%) | 8 (22%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内でトラブルが発生した際に、すぐに面談の場を設定し、必要な支援につなげてくれた。それに伴う子どものケアもしてくれた。 ・相談する時間がない。 ・相談したところなど先生方で共有し、対応が統一されている。 ・契約書に苦情申し立て先について記載があり、入園時に説明を受けた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・選考がちな保護者もいることから、保護者の困っている様子や表情、元気がない声、行動などが見られた場合は積極的に声を掛けて積極的に努めている。療育中にクラス担任が関わることで難しい場合には主任や園長などが別室で話しを聴くこともある。 ・即答が難しい相談内容については、クラス内や主任への報告・相談をし、回答内容を明確化して、あまり時間を置かず返答していきたい。 |
| 保護者への説明等 | 17 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。 | 36 (97%) | (%) | 1 (3%) | (%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・いつでも相談しやすい環境だと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の不安や悩みについては時間を問わずに傾聴し対応するよう努力している。情報提供については、保護者の理解しやすい伝達方法(メモ書きや参考図活用など)を工夫している。 ・相談内容によっては、別時間、場所を設けるなど十分配慮していきたい。 |

| | | | | | | | | | |
|---------|----|--|-------------|-----------|-----|------------|-------------|--|--|
| | 18 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 33 (89%) | (%) | (%) | 4 (11%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・会報で活動、来月予定等の情報が載っている。 ・毎月のお便りで活動予定やその他のお知らせがわかる。業務に関する自己評価の結果は不明。 | <ul style="list-style-type: none"> ・月1回の園だより、2か月に1回の保護だより（子育て参考本の紹介含む）、年数回の法人広報誌を発行している。月のスケジュール（行事・遊びの種類と準備）については手渡し時に説明を加えて配布している。 ・業務自己評価については掲示やホームページで公開しているが、ホームページの存在を認識していない方もいるため公開時期も周知するようにしたい。 |
| | 19 | 個人情報の取り扱いに十分注意されているか | 33 (89%) | 3 (8%) | (%) | 1 (3%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・写真掲載の際に同意書を取ったり配慮されている。 ・勉強会の時など特に注意されているのがわかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・契約時に個人情報の取り扱いに対する承諾書を作成しているほか、文集やアルバム作成時には再度同意書を記載してもらっている。また、保護者による園活動時の写真撮影は遠慮してもらおうよう周知している。 ・地域参加型の勉強会や療育見学会の際は必ず、利用者が映るような写真撮影はお断りし、知り得た個人情報を外部に漏らさないよう伝えられている。 |
| 非常時等の対応 | 20 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 30 (81%) | 2 (5%) | (%) | 5 (14%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練も実施されている。コロナの対応やマスク対応についても説明されている。 ・訓練が実施されているのか分からないが「緊急時の避難について」というマニュアルがあり、説明を受けた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な避難訓練の開催、二次避難場所、地震や火災発生時の行動については、オリエンテーション時に具体的な避難経路図を提示して説明をしている。 ・町内会の災害時対応の会議に出席し、地域防災の役割や段取りを確認している。 ・12月以降の入園者においては周知が十分でなかったため、次年度以降はより丁寧な周知を心がけていきたい。 |
| | 21 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 34 (92%) | (%) | (%) | 3 (8%) | (%) | <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を実施している。(2) | <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の消火・避難訓練、消防の立ち合いによる総合訓練、児童館と合同の不審者対応訓練、感染症（ノロウイルス等）による嘔吐処理訓練などを実施している。 ・不審者対応等防犯研修では「さすまたの使用法や護衛術」などもスタッフ全員が学んだ。 ・職員全員が年1回子どもと大人の救急蘇生とAEDの操作訓練を実施している。 ・緊急時にAEDを借用できるよう近隣機関と連携を密にし、万が一の準備をしている。AEDリース契約も検討中。 ・災害時を想定し、災害用食品や飲料、防寒用品などを常備している。 |
| 満足度 | 22 | 子どもは通所を楽しみにしているか | 16 (43%) | 2 (5%) | (%) | (%) | 19 (51%) | <ul style="list-style-type: none"> ・今日サンホーム？と毎日確認し、休日は心音がっかりするくらい楽しみにしている。 ・明日はサンホームだよと伝えると「サンホーム、しましまバスくるかな」と楽しみにしている。 ・週2回の利用だが、早く行きたいととても楽しみにしている。 ・先生大好きでサンホームにいくと張り切って出発する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新しい場所や人に慣れるのに時間を要する児童も多いため、その特性に配慮し、楽しくあそべる環境づくり、楽しさを共有するかかわり、クラス担任との信頼関係の構築などを重視して「楽しいから、また来たい。」という意欲や動機を促す支援をしている。また、興味関心のあるあそびを通して得意なことや苦手なことを保護者と共有して、わかりやすいツールを活用、工夫して見通しをもった活動ができるようにしている。 |
| | 23 | サンホームの支援に満足しているか | 19 (51%) | (%) | (%) | (%) | 18 (49%) | <ul style="list-style-type: none"> ・サンホームに通って子どもも親も救われた。ありがとうございます。 ・大変満足している。 ・親子での時間も大切だが先生と子どもの時間ももっと増えると嬉しい。 ・親子共々サンホームの先生方が大好きで私たち親子にとってサンホームは心のよりどころになっている。 ・家ではできない体験をたくさんでき、成長につながっているし、私自身も安心できる場所で助かっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も丁寧、かつ保護者の心情をも汲み取ったかかわりを心がけていきたい。保護者は心の葛藤を抱えて入園し、卒園時にはありのままのわが子を受け入れ、前向きな子育てができるようになっていく。親子ともに成長を実感し、それを自覚・表現できるような保護者支援を大切にしていきたい。 |

(注釈)

I 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、朝の身支度や遊びのスペースをパーテーションで区切るなど、子ども本人にわかりやすくすることです。

II 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

III 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

IV 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。